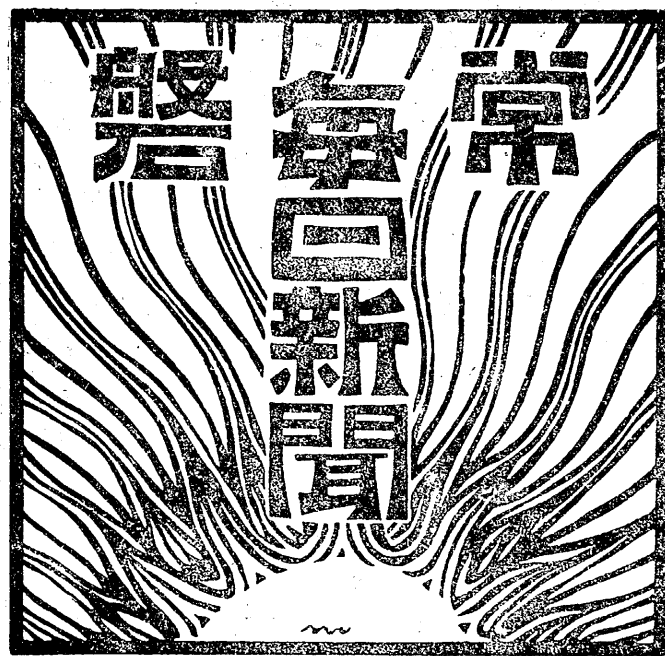


發行兼編輯人 川崎文治
本社下同番地(電話六三〇番)
印刷所 常磐毎日印刷所



刊夕日二十月七

定額 一冊五錢
一月一元二角
三月三元五角
半年六元五角
一年十二元
廣告 第一行五錢
第二行四錢
第三行三錢
第四行二錢
第五行一錢
印刷 每日新聞社
電話 六三〇番

寄書
あふすの話(八) 羽岡老人
以上述べた外にもあふす菌の運ばれる傍道はいくらでもある、
患者——便所——下水——牡蠣——口
と云ふのは西洋のハイカラな處である
患者——汚物——井戸——口
と云ふのもあらうし
患者——汚物——蠅——食物——口
患者——汚物——手——食物——口
等種々の経路があらうが何れにしても出口は患者若し

くは保菌者の糞尿であつて入り口は健康者の口であるちふすを豫防しやうと思へば其途中のごかであらう思へばならぬ、糞尿の消毒は其出口の豫防手段であり生ま物を喰べないのは其入り口の豫防手段である、上水道を設けるとか、井戸水を消毒するとか、蠅を除くとか、清潔法を施行するとか、其途中に於てちふす菌を成る可く人体から遠ざけようとする工夫である
ちふす菌の病原体
此厄介千萬ちふす菌に由て起る傳染病であるが、さて其ちふす菌とはどんな物

か一通り知つて置く必要がある。
ちふす菌は微細な細菌で顕微鏡で五百倍に擴大して見るとやつと一みりめーと見(三厘三毛位の大きさに見える、楠木に毛が生えた様な形をして居る、潜水艇の如く活潑に泳ぎ廻る極めて簡単な生物である、之が人体中に入ると先づ腸内に繁殖して忽ちの内に無数の菌となる、腸壁から血液中に侵入して全身に行き渡りちふす病を起すのである
(つづく)

専賣特許タイル
各種タイル
テラコッタ
煉瓦
衛生用陶磁器

御注文申込次第
店員參上
産地「伊賀」焼
特約店
(上)武屋茶店
平町三丁目

あん餅で
東北一……
鐵道省御用舗
花澤四良司菓子店

涼しい飲み物の天下……
生ビール 十五錢
アイスクリーム 十錢
其他ソーダ水や冷コーヒ、冷コー茶等冷たい飲み物の用意が種々整へました
出前は迅速可憐です

カフエー松ヶ岡
電話呼出 二二三三番
六五二番

泌尿婦人科
皮膚科専門
阿部診療所
平町字新川町 電話六一五番

徳田博士推奨
純良食用蜂密(病弱者は勿論保健衛生を重んずる人は常用せられよ)
ハカリ買りも致します
蜂密生産 蜂群養成 石城養蜂場
(平町販賣店) 田町金子酒店、五丁目山野邊藥局、南町龜山酒店、土橋大森商店、搔地小路大須賀商店

平町紺屋町(縣社通り)
美味評判 ちふす食堂
はやくくるまる
オの部電話四六〇番

着尺モスリン
江戸好中形
粋な手拭中形
納小紋

平 龜田屋

迅速切貨自動車
電話七四番
電話出番七六一番
助手數 名募集
平町南町

自動車部強勉
主 芹澤正忠

正確な寒暖計と
体温計は親切第一
一の山野邊藥局
平町五丁目角

御進物 節鯉の節
福島縣廳内
尾形治右衛門
野村直雅
大谷寅五郎
藁田光太郎
蛭田口三郎
樋崎長三郎
松崎長三郎
上野忠一
新妻一郎

平町紺屋町 吉田眼科醫院
私共今般赴任ニ際シテハ御多用中ノ處態々御見送被下誠ニ難有奉存候實ハ一々御禮可申上ハ本意ニ御座候へ共乍略儀以紙上右御禮申上度如斯御座候 敬具
大正十五年七月十日

平町田町(電話二一四番)
磐城病院
(内科小兒科) 院長 市原卯太郎
(外科泌尿科) 市原陸男
(婦人科皮膚科) 日本醫學士 日高忠男

脱獄囚警戒網を破り 實兄の家を訪ふ

反つて意見され 再び行方を晦す

河沼郡廣瀬村字佐藤分農山口驚造方へ数日前深夜嚴重なる道筋の警戒網を破つて同人の弟である平刑務所脱監囚人前科五犯山口驚三郎(三)が訪れ家人に會はんとして主人驚造に説諭され、其儘姿を没せる事が最近判明廣瀬村では、上を下への騒ぎで消防組在郷軍人會員等連日徹夜の警戒中である

入山炭礦へ 給水お断り

好間河の決議

飲料水に困つて居る石城郡湯本町入山炭坑では好間川から取水し水道を敷設すべく好間河の各灌がい民側の同意を得べく交渉したが同村では十日各せき委員その他百餘名會合してその可否につき協議した結果同意せざるに決した

町臨海學校

八月一日から

平町第一小學校、五年生以上の生徒は八月一日より八日間四倉海岸に臨海學校を開設する

貯炭の調査

炭礦營業協同

常警各炭礦の販賣主任十四名は此程會合打合せをなし

常警片々

十圓の金を手にして五圓の酌婦買ひを爲した言ひ譯に辻強盗を擔ぎ出した嘘つき男、科料五圓で手の内ゼロ
娼妓の公休に針仕事、善さそうで悪るし

玉菜専門の賊「タマナ」んですから御勘辨を……と洒落たが追つかず検事局へ
夏期海水浴地の臨時列車は混雑緩和に非らずして浴客誘引也、故に反つて乗り込まんとし命懸けの難踏を呈

雇主飯田ナツは媒合の廉にて各拘留三日に處さる
内郷校長送迎 石城郡内郷村高坂高等小學校校長木幡次郎氏は此程退職して

臨時列車を増發

浴客の便宜を圖つて

東京鐵道局では常警線夏期旅客が多く毎年臨時列車を運轉して旅客輸送の圓滑をはかつてゐたが本年も来る十八日より八月十四日まで平、久の濱、平、四ツ倉間に臨時列車を運轉する事となり昨日左の如く發着時刻の發表があつた

▲平發 久ノ濱着
前八、〇七 同八、三五
同九、〇四 同九、一八
▲久ノ濱發 平着
前九、〇二 同九、三二
同九、三五 後三、〇三

列車内の

うす物用心

暑さに向いて

いよ酷暑に入つたので男女老弱を問はず列車乗客は殊の外薄物に着代へて旅行するやうになつたがこの爲夜行列車などには醜行を演ずるものを見受けるようになり殊に誘拐等の如きも増加傾向にあるので鐵道側では頭を悩まして居る爲めに平驛でも近く何等かの方法で警告を發せねばなるまいといつてゐる

賭博犯逮捕

好間の飲食店で

石城郡好間村大字北好間字椎木平小田炭礦人練吉田留吉(三)同村同業細貝丑松(三)同村字室田無職國分善吾(四)同村古河炭礦飯場頭鈴木市四郎(五)平町字白銀町魚商渡邊米藏(三)同町西洋料理業輕部三壽(三)は去る七日同村字雜飲店田名網正太郎方與座敷にて花合賭博を爲し春山、鴨原兩駐在巡查に逮捕され取調への上本日檢事局に送らる



七月の草花

七月開花するもの又六月から引つゞいて咲くものは澤山ありますが、これ等のものを切りとつて部屋のなか

庭家欄

娼妓のお休み

毎月一回宛

平町鎌田遊廓にては既報の娼妓待遇改善の協定案に基き毎月娼妓を二組に分け十日及び廿日の二回に公休を與ふる事となつたが去る十日の第一回公休日實施には左の如くであつた

(豆樓) 晝農事試驗場見學
夜平館(甲子樓)晝廓内休養、夜有聲座(榮樓)晝廓内休養、夜半劇場(小泉樓)晝廓内休養、夜中館(萬歲樓)晝廓内休養、夜有聲座(住吉樓)樓主方に

石城將校叙位

て裁縫練習

城郡内にて今回正八位に叙せられた豫備將校左の如し
赤井村歩兵少尉大野正、好間村同叶多雄平、鹿島村同鈴木孝親、川前村同矢内勉、内郷村砲兵少尉大越一郎、湯本町同大平國市

溝渠を掃除

石油乳劑撒布

平町白銀町一帯は旅人宿飲食店等割合に多く従つて塵介其他の汚物を溝渠に捨て汚水の排除完全でない爲め傳染病流行の兆ある昨今公

青年劍道練習 石城郡赤井村大字鹽田青年團にては團長大平照治氏發起となり青年修養會を設け毎月二三の休日を利用して劍道を練習する事になつた

不平受付

投稿歡迎

勢屋の裏の下水に誰が捨てたのか死んだ鼠が何疋も浮んで居る、水の流れる時はまだしも此程の様に天氣續きで水の流れぬ時は鼠がふくれ上つて多くの蠅が寄り集り衛生上甚だ困るので何んとか御注意願ひませんか (通行生)

不平受付

投稿歡迎

如き非衛生の行爲に出でたるものは汚物掃除取締法に依りて拘留科料に所する事になつて居ますから發見次第忍かにお知らせ下さい

不平受付

投稿歡迎

揚げの悪いものであるから挿す前に相當に水揚法を採らなければならぬ、それは切口を熱火焼くとか熱湯中に二三分浸すとか、アルコール、硝酸銀鹽酸等に二三分浸すなど方法は簡單であるから場合に應じて適當な水揚法を一すやつた方がよいのです

平町人事

出生

△胡摩澤一〇九 加納盛兵二男宏文
△長橋町四七 加定吉氏三女久子
△久保町三二 柴田善治氏三男光男

婚姻

△研町一八 弟子丸正雄氏(二四)同
△櫻町三七 鈴木藤次郎(六九)
△仲町一六 當時東京府警多摩澤
△新川町一八 鈴木義雄(八七)

募集

文藝其他投稿

草野ハヤシ(二三)
△死亡
△新川町一八 鈴木義雄(八七)

衆衛生の上に憂慮すべき點少くないとし十一日衛生組合員出動人夫五名を督して同町全部の溝渠を浚渫し石油乳劑三罐を撒布したと

校外取締協

活動觀覽禁止

平町の中男女以下小學校に至る各學校生徒の校外取締に關する各協協議會は十日午後一時から平町平陽女學校に開催平第一小學校では從來土曜日に活動寫眞の觀覽を許してゐたが惡影響があるの今後には有益なる寫眞の外絕對觀覽せしめな

校外取締協

活動觀覽禁止

平町の中男女以下小學校に至る各學校生徒の校外取締に關する各協協議會は十日午後一時から平町平陽女學校に開催平第一小學校では從來土曜日に活動寫眞の觀覽を許してゐたが惡影響があるの今後には有益なる寫眞の外絕對觀覽せしめな